



学芸員 村山 閑

モザイクタイル Mosaic tile の散歩道

Vol.8

ローズ理容 (本町)

美濃焼タイルとまちの素敵な出会い。

多治見橋から駅へと延びる「ながせ商店街」を歩くと、鮮やかなガラスモザイクの壁画が目に入ります。昭和58年ごろ、当時の「エルナードながせ」で、商店街の理事長が中心となってカラータイル舗装したとき、同時にお祭り広場だった五差路の角地、ローズ理容2階の白壁を使って施工されました。

昭和41年、現在の店主が24〜25歳のころ新築したというローズ理容。東京のホテルの理容室などを参考に、店主自らレイアウトやインテリアの細部まで考えたそうです。外装の深い緑の小口タイル、室内の白いモザイクタイル、ガラスブロックや待合のソファもこだわりのひとつ。後から作られた壁画にも、そんな建物への敬意が感じられます。(有)ミズアートスタジオの二代目を担い、数々のモザイク壁画を手掛けた曾根鈴代さんの遺作。テーマは窯の炎です。

モザイクタイルミュージアム

※本連載では、市内に点在する美濃焼タイルを使った建造物を紹介します